こくろう秋田

土崎駅・五所川原駅体制変更を提案

ＪＲ秋田支社は１月、土崎駅と五所川原駅の体制の見直しを提案しました。

「急速に変化する環境に適応するため、変革の歩みをスピードアップし、より効率的な駅業務体制を構築するための体制の見直し」としています。

以下は提案団交時のやり取りです。

◇組合側　◆会社側

◎土崎駅については、秋田臨海鉄道㈱が３月末で営業を終了することで入れ替え作業が大幅に減少するためとしています。輸送職の長日勤２つを廃止し、営業職の変形９－１形を、変形１０－２形とするものです。

◇要員の変更は？

◆２名減となる。

◇入れ替え作業が無くなるという事か？

◆秋田総合車両センター（土崎工場）からの出区の関係で入れ換えは発生するが、頻繁にある作業でないことや事前に分かるものなので、出面の変更を勤務指定して対応する。

◇営業職の社員が輸送業務を、輸送職の社員が営業業務を行うことになる時には、不安が無いようしっかりと教育を受ける体制を取られたい。

◆教育については、しっかり行う。

◎五所川原駅については、交代勤務だった助役職を日勤とし、長日勤だった営業職を交代勤務とするというものです。

◇一般職が交代勤務となっても要員は間に合うのか？

◆間に合う

◇助役の数はどうなる？

◆１名減となる。

◇駅の体制としては何かあったら助役（管理者）ということで対応している。異常時はもちろん、イレギュラーな対応に社員が不安になるのではないか？

国鉄労働組合
秋田地方本部
秋田市中通
7-2-21
☎018-832-3775
発行責任者
佐藤浩一
編集責任者
編集部

◎国労は「申」を提出し、３月５日に団体交渉を開催します。

春闘行動チラシ配布実施

２０２１春闘行動として２月28日、秋田市フォンテ付近で「春闘チラシ配布行動」を行いました。

気温が氷点下の屋外での行動でしたが組合員15名が参加し、通行される人にティッシュとチラシを配布しました。

外に向けた宣伝が少なくなりましたが、今後とも外に訴える行動が必要だと感じました。

参加された組合員のみなさん、お疲れさまでした。

春はもうすぐ

ＪＲ西日本が一時帰休

2021.1.22交通新聞

ＪＲ西日本は20日、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出などを受けて、2月1日から28日まで社員の一時帰休を実施すると発表した。

当面利用の減少が見込まれ、今後の経営見通しが一層不透明になる中、公共交通機関としての役割を担いつつ、社員の感染防止と雇用維持を図る。対象は病院を除く全部門の社員らで、一日当たり約１０００人規模。賃金は減額しない。